

公共施設等の整備・管理に係るQ & A

1 公共施設の管理全般について

Q 1 公共施設の整備を今後、どのように行っていくのか。

A 1 市の公共施設の多くが昭和40年代から50年代にかけて整備されました。その施設の老朽化が進み、大規模改修や、建替えなどの更新時期を迎えます。そのため、施設ごとに個別施設計画(※1)を策定し、市全体の計画をまとめて事業化していきたいと考えています。

Q 2 建て替え等の方針について。

A 2 将来のコストを含めた財政的負担だけでなく、施設の必要性を検証したうえで評価を行い、整備し、管理していく予定です。

必要性については、多くの方から利用していただくことが大前提となります。需要見込等を踏まえ、適正な規模の施設を、最適な場所に配置したいと考えています。

Q 3 整備方法の考え方について。

A 3 少子高齢化の進展や市民のニーズの変化とともに、公共施設に求められている用途や機能が変わってきています。利用者が少ない施設は、稼働率の改善と合わせ、利活用形態の見直しを検討します。また、建物の老朽化を勘案し、複合化や建築物の内部の改修による用途(機能)転用を目指します。近隣の施設・民間事業者との連携や、施設の統合・縮小・廃止についても検討していきます。

Q 4 公共施設を有効活用する仕組みについて。

A 4 公共施設等は利用者や市民が支え有効的に活用する仕組みがあってこそ、持てる機能を最大限に発揮できます。一方そうした仕組みや仕組みづくりの過程で得られる成果は、着実にまちづくりにつながります。そのためには、施設整備或いは管理方法を検討する段階から、市民が参加する体制を作ることが必要です。

そして、施設を使い続けるため、団体や個人、民間事業者のかかわり方(どう参加・連携、負担できるのか)についても検討していきます。それが、個別施設計画で最も重要な、施設のあり方と使い続ける仕組みの検討になると考えます。

Q 5 公共施設の機能について。

A 5 施設を利用する方は、いろんな目的を持って施設を訪れます。利用する団体や個人の目的に沿って、あらためて施設がどんな機能を持つべきか検討していきます。

2 個別施設計画作成に向けた市民参加について

Q 1 市民の皆さんへの情報提供と参加について

A 1 公共施設の現状と課題、整備・管理に関する基本方針について、町会、団体の会合等に職員が出向いて説明する出前講座を開催していきます。

また、個別施設計画検討に係る資料作成指針(※2)に基づき、まとめた市の考えを、検討会等で示し、一緒に考え、提言を得たいと考えています。

市民の皆さんと一緒に考える機会や参加方法については、ホームページ等でお知らせしていきます。

4 用語等の説明

(1) 個別施設計画(※1)

寒河江市公共施設等総合管理計画で定めた方針に従い、市が保有する全公共施設の整備・管理について、個別に作る重要な計画です。毎年度それらをまとめて優先順位を付け、財政状況を勘案したうえで、中長期の見通しと、短期の計画を策定し、事業を行う予定です。

(2) 個別施設計画検討に係る資料作成指針(※2)

市としての考えを整理するための方針です。新たに整備しようとする施設を含む全施設の計画作成を、この指針に基づき行います。現状把握、需要見込、経営方針の検証方法や、必要性や経済性を判断し、優先度を検討する方法を示しています。